

令和6年 千葉市議会第1回定例会



折原会計管理者と

元気発信！花見川！

【主な役職】

立憲民主党千葉県総支部連合会副幹事長／防災・減災対策調査特別委員会委員長／花見川地区保護司
花見川中学校区青少年育成委員会顧問／花見川こやまき自治会会長／花見川小学校評議員／花鳥小学校評議員

だんぎ和彦 市議会レポート

新年度予算を審査する「令和6年第1回定例会」は、2月21日(水)開会いたしました。

議場での本会議散会后、各会派に分かれて行われた議案研究は27日(火)まで行われ、補正予算議案、条例議案、一般議案のほか、新年度予算(案)についても質疑応答が行われました。

2月29日(木)・3月1日(金)は、5会派による代表質疑が行われ、3月1日(金)の本会議散会后には予算審査特別委員会を設置し、委員長・副委員長・委員長の互選、分科会の設置及び分科会委員の選任、分科会主査・副主査の互選、理事会の設置が行われ、直ちに予算審査特別委員会理事会が開催されました。その後、休憩をはさんで議場において総括説明が行われました。

3月4日(月)から7日(木)にかけては予算審査特別委員会分科会が開催され、5分科会に分かれての予算審査が行われました。8日(金)は、5常任委員会による新年度予算議案以外の議案について審査が行われました(11日は予備日)。

12日(火)からは一般質問が始まり、18日(月)まで28名が登壇いたしました。私も12日(火)3番目として13時より登壇し、「1. 災害時の対応について」、「2. パラスポーツの推進について」、「3. ごみ減量・再資源化について」、「4. 花見川区の諸問題について」(1)交通政策につ

いて「行わせていただきました。また、13日(水)本会議散会后には予算審査特別委員会分科会、15日(金)午後休憩時には予算審査特別委員会理事会、18日(月)の本会議散会后には予算審査特別委員会(分科会)報告・意見表明・採決」が行われました。

最終日となる19日(火)には委員長報告に続いて、共産党千葉市議会議員団からの令和6年度予算に対する組み替え動議が提出され、その後組み替え動議も含めた討論が行われ、続いて採決が行われましたが、議案はすべて可決、発議及び組み替え動議は否決、請願は不採択となりました。また、追加議案である議案第51号から第57号の人事案件審議は、全員協議会での議案研究を経て委員会付託省略での採決によりすべて原案同意、委員会条例・会議規則の一部改正となる発議審議及び議員提出の発議審議(意見書)につきましては、いずれも委員会付託省略で採決され原案可決、続いての、千葉市選挙管理委員及び補充員選挙並びに千葉市各区選挙管理委員及び補充員選挙につきましても議長が指名した者が当選となり、最後に神谷市長より発言があり閉会となりました。

令和6年第2回定例会は6月6日(木)開会で6月21日(金)までの会期となる予定です。

一般質問でついで

東日本大震災より13年目となり、3月11日(月)は常任委員会の予備日となりましたが、翌日の12日(火)より一般質問が始まり、18日までに28名が登壇いたしました。

その初日である12日(火)の3人目として、午後一番の13時より登壇し、一問一答(2回目から)で行いました。通告項目は、「1. 災害時の対応について」、「2. パラスポーツの推進について」、「3. ごみ減量・再資源化について」、「4. 花見川区の諸問題について」(1)交通政策についてといたしました。

昨年12月改正された「千葉市防災計画・共通編」「千葉市防災計画・災害応急対策編」及び「千葉市水防計画」が公表されたが、能登半島地震では、地域の特性により求められる支援の違い、各避難所でのごみやトイレの問題、給水や衛生面の確保などの課題がありました。

本市でも令和元年の房総半島台風や豪雨による被害があり、首都直下地震が起り得る確率も高いとされ、災害時の対応について再点検及び市民に分かりやすく考え、災害時応援協定を締結する関係団体との連携も含め伺うことといたしました。

緊急輸送道路の通行確保や電柱の倒壊及び橋梁の損傷に対する備えについて、避難所のトイレの衛生面や女性が使用する場合の安全性等について、災害時における生活ごみの収集体

発行責任者 千葉市議会議員 段木和彦
発行所 花見川区花鳥町4300-8
TEL 043(2558)09558
FAX 043(2886)93312
携帯 090-12325-13683
E-mail: dangi.s@codacocn.ne.jp

谷川良信記念・千葉市長杯争奪車いすバスケットボール全国選抜大会開会式



制について、避難行動要支援者への支援体制や帰宅困難者への対応等について伺い、発災後のパトロール及び協定を締結している事業者等との連携や電線共同溝による無電柱化、橋梁の損傷への備えについては整備の推進やメンテナンスの継続等についてご答弁いただきました。

2. パラスポーツの推進について

東京2020パラリンピック競技大会において、幕張メッセで4競技が開催されたことを契機に、パラスポーツを通じて交流できるまちづくりを推進しており、世界的にパラスポーツへの関心が高まっている中、本市の取り組みについて伺いました。

昨年9月に開催された「パラスポーツフェスタちば2023」の事業規模今年度の特格的な取り組みについて、パラスポーツ競技大会の市民への周知や啓発の取り組みについて、大学との連携や周知啓発について、来年開催の「2025年デフリンピック東京大会」への本市の関わりについて等伺い、パラスポーツ等の体験には、延べ3,000名以上がご参加、ボッチャ交流大会では65チーム・257名が交流を楽しんだこと、デフリンピックPRブースを設けた取り組み、共生社会を築いていく若い世代への周知・啓発として、小・中・特別支援学校の児童生徒の「ジャパンパラ車いすラグビー」競技大会や「車いすラグビー」日本選手権の観戦、今月開催された「長

循環型社会や脱炭素社会を実現するために、ごみの発生抑制とモノの再使用に努め、排出せざるを得ない場合はできる限り再資源化する3Rの取り組みが重要であり、大部分を可燃ごみとして処理されているプラスチックや生ごみを資源として活用し、より一層の減量と再資源化に取り組みでいく必要があります。

改定前の「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」の総括について、プラスチック分別収集のしくみづくりの考え方について、生ごみ減量処理機のマンション等の集合住宅におけるの活用課題及びその解決に向けた取り組みについて、食品ロスの削減と「食べきり協力店認定制度」創設の目的と取り組みについて等伺い、家庭系剪定枝等の再資源化等「低炭素・循環型社会の構築」を目指し一層のごみの減量と再資源化のため、低炭素社会から脱炭素社会の構築を目指す、プラスチック収集のモデル事業実施に際してわかりやすい分別ルールの設定、様々な検証によるプラスチック分別収集・再資源化事業のスキームを構築、マンション等での乾燥処理物の堆肥化が

【裏面へ続く】

【表面より続く】

課題であり、対策として民間事業者の店舗等に回収ボックスを設置し及び自社農場等での活用、食品ロス削減に向けた意識醸成や家庭等での行動変容が目的であり、要件を満たした認定店にはステッカー等を配布し市ホームページ等での紹介や認定店の利用をPRしながら食品ロス削減を目指していく旨のご答弁をいただきました。

4. 花見川区の諸問題について

(1) 交通政策について

現在、国で検討しているライドシェアや、本市でも社会実験を進めている新たなモビリティの実証実験も行われているが、手段ごとに様々な課題もあり、すぐに導入可能なものではなく、こうした状況下では、既存公共交通に

ついて地域とバス事業者が意見交換し、課題を整理しながら利用促進や利便性向上につながる体制づくりや連携が必要と考えます。

既存公共交通を維持していくためには、「地域」という文脈の中で重要なことは何か及び市としてはどのような取り組みを進めているのか、これまで市とバス事業者と地域ではどのような話し合いがもたれたのか、取り組みをさらに広げていくための市としてはどのような支援ができるのか、バス事業者に対して生活交通バス路線維持支援が予算案に計上されているが、路線バスを維持するため、どのように取り組んでい



花まる号

くのか等について伺い、地域の皆様はじめ多くの方々に積極的に利用してもらうことが重要であり、市としては利用へ行動変容を促す取り組みやバス待ち環境の改善に取り組んでいる、市・事業者・自治会の三者で構成する「花見川区北部地域バス路線三者協議会」を設置し「花まる号」の運行について協議し利用促進に努めている、出前講座の開催や地域公共交通アドバイザーの派遣等の実施などの支援、モビリティマネジメントの本格的な実施に向け、路線維持のため三者が協力し合う体制づくりの構築に努める旨のご答弁をいただきました。

予算審査特別委員会

毎年第1回定例会は予算議会となりますが、令和6年度予算(案)を編成するにあたり基本的考え方として、「第1次実施計画事業の推進」として、2年度目となる第1次実施計画の事業費の精査を行ったうえで事業の推進を図ること、「財政の健全性の維持に向けた取り組み及び行政改革の推進」といたしまして、財政の健全性の維持に向けた取り組み及び行政改革の取り組みを着実に推進するとともに、既存の事務事業については事業効果や必要性について検証を行い、状況に応じて見直しを図ることとしております。

主な施策といたしましては、「幅広い子育て世帯への支援」「持続的な公共交通ネットワークの形成」「災害対応体制の強化」を掲げております。

当初予算の規模は、一般会計5,094億円で、前年度と比較して264億円・5.5%の増となっております。

おります。企業会計を含む特別会計17会計は、病院事業会計や介護保険事業特別会計などで増額となっております。総額4,437億5,500万円で、前年度と比較して76億9,200万円・1.8%の増となっております。全会計を合わせた規模は9,531億5,500万円で過去最高となっております。

予算審査特別委員会は3月1日(金)本会議散会後に設置され、委員長・副委員長・委員長の互選、分科会の設置及び分科会委員の選任、分科会主査・副主査の互選、理事会の設置が行われ、直ちに予算審査特別委員会議事会が開催されました。その後、休憩をはさんで議場において総括説明が行われました。

3月4日(月)から7日(木)にかけては予算審査特別委員会分科会が開催され、4日(月)・6日(水)は、総務分科会・保健消防分科会、5日(火)・7日(木)は、環境経済分科会・教育未来分科会・都市建設分科会に分かれての予算審査が行われました。その後、13日(水)本会議散会後に各

予算議案以外の議案

今定例会に提出された予算議案以外の当初議案につきましては、議案第2号から第7号までの補正予算議案6件、議案第26号から第44号までの条例議案19件、議案第45号から第50号までの一般議案6件の計31件のほか、議員提出の発議第3号、請願第1号が提出されました。

議案の内容につきましては主だったところでは、国の補正予算関連に係る保育環境の充実として、「こども誰でも通園制度(仮称)の本格実施を見据えた試行的事業」「保育所等性被害防止対策」「保育所等ICT化推進」、防災・減災の推進として「高齢者施設

花見川区に関する予算について

今議会に提出された「令和6年度当初予算(案)」においても、花見川区に関する予算が計上されておりますのでご紹介いたします。

都市局の都市政策課・緑政課による事業で、「河川(都川・花見川・鹿島川)を活用したまちづくりの推進」につきましては、昨年の2,226万円から8,910万円と大きく予算が拡充されており、花見川に関しては「花島公園の利活用」「花見川千本桜緑地の利活用」「サイクリングコースの環境整備」が事業内容として示されており、うち6,480万円が花見川区関連です。これに先立ち2月15日(木)には、株式会社みなも、独立行政法人都市再生機構、佐倉市、八千代市、千葉市の5者が連携協定を締結し、市境を越えて関係者が協働してエリアの魅力を高めるブランディングの取り組みである「千葉うみさとラインプロジェクト」が始動いたしました。また、3月30日(土)・31日(日)には、この「うみさとライン」のPRも兼ねた、花見川の魅力を発信するイベント「ちばかわまつり花見川」が開催されます。

同じく都市局の建築部住宅政策課の事業「高経年住宅団地の活性化」の中で、花見川団地を拠点とした地域生活圏の活性化を推進するため、UR都市機構及び民間事業者と協議会を設立し、地域活動拠点の整備などを行う「花見川団地の活性化」に700万円、「高経年住宅団地への住替え助成」に2,160万円の予算が計上されており、住替え助成については、子育て世帯が児童手当と同じから制限なしへ、新婚等世帯が500万円未満から制限なしへ所得要件が撤廃され、子育て世帯30件・新婚等世帯30件を見込んでおります。

また、都市局公園緑地部の「花島公園の魅力向上」に760万円、建設局土木部の橋梁長寿命化修繕計画に基づく玄鼻橋の橋梁下部工工事、柏井橋の関連道路整備に合わせて1億8,370万円、建設局道路部の幕張本郷松波線の幕張町地区部分の整備についても事業化されております。

このほかにも、花見川区に関わる事業が多々ありますが、私がこれまで取り組んできた「生活交通バス路線維持支援」「地域公共交通支援」が新規で、「新たな地域公共交通導入に向けた社会実験」「モビリティマネジメントの推進」なども当初予算に組み込まれております。今後も、皆様のご要望にお応えできればと存じます。

災害対応設備等整備助成」、その他として「保育士修学資金等貸付」等があり、そのほかにも病院事業会計の「新病院整備」、様々な積立金について、生活保護、障害者総合支援、ひとり親家庭等医療費助成他の経費の追加等がありました。

これらの議案につきましては、3月8日(金)に開催された5常任委員会において審査が行われ、最終日の19日(火)に採決し、補正・条例・一般議案はすべて可決され、発議及び組み替え動議は否決、請願は不採択となりました。

て上程された人事案件7件は、千葉市教育委員会委員の任命、千葉県公安委員会委員・人権擁護委員の推薦に関するもので、全員協議会室においての議案研究、委員会付託を省略しての議場における採決により、すべて原案同意となりました。

また、委員会条例・会議規則の一部改正となる発議審議、議員提出の発議審議(意見書)は、共に委員会付託省略で採決され原案可決、千葉市選挙管理委員及び補充員選挙並びに千葉市各区選挙管理委員及び補充員選挙につきましても議長が指名した者が当選となりました。